

幸袋校小学部だより

令和4年8月5日(金)第8号
小学校長 松隈 崇世

学校教育目標 自ら学び、仲間とともに夢の実現をめざして挑戦する子どもの育成

【自律】自ら課題を見つけ、自ら考え、主体的に判断し、行動し、自分の学びを高め続ける子

【協働】自他に優しい思いやりの心とスキルを持ち、人間関係を豊かに築き自分の力を他者のために活かそうとする子

【創造】前向きな生き方や目標を持ち、実現に向けて意欲的に取り組む子

平和について考える

今年、ロシアのウクライナ侵攻という衝撃的な事件もあり、平和が当たり前ではないのだと考えさせられました。日本においても、近代以降、77年もの長い間、戦争がないのは、第二次世界大戦以降の今だけです。平和は当たり前には与えられるものではなく、常に自分たちで考え、守っていくものだとすることを肝に銘じなければなりません。

学校でも、年に数回、平和について考える学習を行っています。5月3日「憲法記念日」、6月23日「沖縄慰霊の日」、8月6日「8月6日広島原爆投下、8月9日長崎原爆投下、8月15日終戦の日」、12月8日「太平洋戦争開戦～真珠湾攻撃～」等・・・これらの学習を通して、先人の大変な苦労の上に今の日本やわたしたちの暮らしがあることを知り、他の国の属国とならないための決断だったとはいえ、強く豊かな国を目指し、戦争という悲惨な道を突き進んでしまった過ちを二度と繰り返すことのないよう、平和を自分たちの手で守るという強い気持ちを育てていきます。

6年生は、修学旅行における長崎での平和学習で、被爆者の溝浦さんから直接被爆体験を聞きました。また、さるく隊の方から当時の話を教えていただきながら被爆地長崎を自分の目で見て回りました。その後学校で、分かったことや、そのことから思ったこと・考えたことをまとめ、今日、平和学習で全校児童に伝えました。6年生のメッセージを少し紹介します。

平和は当たり前ではありません。昭和20年には食べる物もなく、幼い子どもが戦争に巻き込まれ亡くなりました。一人一人が心がけることで毎日が平和で楽しくなると思います。

私たちが考える平和とは、戦争や争いごとがなく、みんなが笑顔で過ごせること、戦争などで罪のない人が殺されず、家族みんなで安心して暮らせることです。

原爆たった一つでたくさんの人の命が失われました。戦争を体験した被爆者の方は、恐ろしい思いをしたと思います。そんな恐ろしいことがあったことをみんなにもわかってほしいです。また、(平和を守るため)自分たちができることからやってほしいと思います。

私も子どもたちから見れば、十分に年配ですが、ばりばりの戦後生まれです。もはや戦後ではないと言われたもっと後に生まれました。実感を持って戦争と向き合うことができない世代は、たくさんの体験談や本から学び、想像力をもって今や未来に何をなすべきかを考えなければなりません。よい過去だけでなく、つらい過去も含めて真実を知り、そこからしっかりと考えられる子に育てていきたいと思っています。ご家庭でも、子どもたちが学習をした機会を捉えて、話をしてみてください。



発表プレゼンを作成中

マスクを外せない子どもたち

新型コロナウイルス感染症でいきなり臨時休校となった日から早くも2年半が過ぎようとしています。コロナ禍で、様々な制限がかかる生活も3年目を迎えました。長期にわたる通常とは言い難い生活が社会に及ぼした影響は多大です。その影響はじわじわと「人」自体にも及んできているようで非常に心配です。婚姻率は低下し、従って子どもの出生率も低下しています。孤独を感じるとアンケートに答えた人は明らかに増加し、これと関係しているのか、怖いことに自殺する人の数は増加しています。

子どもたちの世界でも影響は出ているように感じます。本校でも明らかに不登校傾向や行き渋りの子が増えました。マスク生活も3年目・・小学校生活の半分に迫ろうとしており、マスクを外せない子が増えています。暑くなると熱中症も心配なため、外ではマスクを外すように指導しています。私も朝の登校指導の折、「外では外していいとよ～。外しなさい～い。」と声をかけますが、半分以上の子が「大丈夫です。」と言って外しません。6年生の修学旅行についていったときの写真撮影では、何度声をかけられても頑なに外さない、というか外せない子が数人いました。これは本当にコロナ感染を心配してのことでしょうか・・。少し、いえ、かなり心配です。

私はこの仕事をして32年目になります。コロナ禍以前、マスクやフードを外せない子を何人か見てきました。不登校傾向のある児童です。その子たちは、漠然とした不安が常に高く、その不安から身を守るためのプロテクターとして長袖、フード、マスクを身につけ、外界からの刺激をできるだけ受けないようにガードして自分の身を守ります。それに近い心の動きになっている子が出てきているのではないかと思います。顔を半分隠す生活が当たり前となった今、逆に顔を全部見せることに漠然とした不安を抱える子、自分を守るアイテムを脱ぎ捨てることに不安を抱える子・・十分に理解できます。しかし、それは喜ばしいことでしょうか。人の反応を気にし過ぎて悩んだり、人に心を開けなかつたりすることに繋がってしまうような気がします。思いっきり大きな口を開けて「ははは・・。」と笑う子どもたちの笑顔が見たいです。

子どもの様子を見て、気になるな・・と思われた場合は、学校にご相談ください。学校や飯塚市には、スクールカウンセラーがいて、要望に応じてカウンセリングを受けることができます。子どもたちの健やかな成長のために、共に考えていきたいと思っています。よろしくお願いいたします。



お願い

- 健康チェックカードを持参する登校も日常の風景となりました。しかし、感染状況が悪化した際には、このカードが校内感染を最小限に食い止める砦となります。朝の忙しい時間帯に大変かとは思いますが、必ず保護者をご記入ください。よろしくお願いいたします。
- 8月24日、14時から学校、家庭、児童クラブをネットで繋いで、オンライン学習の施行実施を行います。臨時休業等の非常時や、個別に長期のお休みをすることになった際に学習ができるよう、物的・人的に環境を整えていくためです。よろしくお願いいたします。